

◎第22回チャレンジカップ・マスターズ選手権、全中スキー大会神奈川県予選会
鹿沢大会行事レポート

2023.12.23～24

広報委員 佐藤 公宣



◎はじめに

今シーズン初めの大会ではありましたが、選手の皆さんは元気一杯、実力を発揮していました。毎度にはなりますが、この時期、いったいどこで練習していたのでしょうか??? 大会バーンはある程度、降雪がありました、スキー場関係者のご努力により完璧に整備され無事に大会を運営することができました。

◎大会運営役員のお仕事

行事の取材はどうしても選手や参加者がメインとなりますが、今回はちょっと視点を変えて、大会運営役員のお仕事について簡単に紹介してみます。アルペン競技会は様々な役員それぞれの業務とスキー場関係者が縁の下の力持ちとなって活動していく事で、安全でスムーズな大会運営がなされています。

今大会の大会役員は以下の通りです。

① 技術代表 (TD) : 菊池 富士夫

SAJアルペン公認競技会の厳正公平な運営を図り、競技会を円滑にし、その権威を保つための公認技術代表



② 競技委員長：中田 圭

競技委員長は競技のすべての準備を指導し、技術的な活動を監督する。また、技術的な問題の解決のために会議を招集し、そして、TDの監督の下、チームキャプテン会議（TCM）を指揮する。



③ 主審（レフリー）：白沢 達夫



④ スタート審判：伊藤 英樹、鈴木 孝一

⑤ フィニッシュ審判：守屋 孝樹





⑥ セッター：蔦原 克典、河西 豊光、立川 秀圭、鹿沢レーシング



⑦ セクレタリー：佐藤 茂之

競技のテクニカル面とりわけドロアの準備に関する事務全体に責任がある。また、競技委員会の会議やジュリー及びチームキャプテンMTGの議事録に関しても責任がある。



⑧ ジュリー：TD、競技委員長、主審

TD、競技委員長、レフリーの3名で構成され、それぞれに任務、権利、責任が課せられ、競技会の準備、運営などに当たる。

⑨ レースオフィス：坂田 元政、腰高 豊、宮本 篤

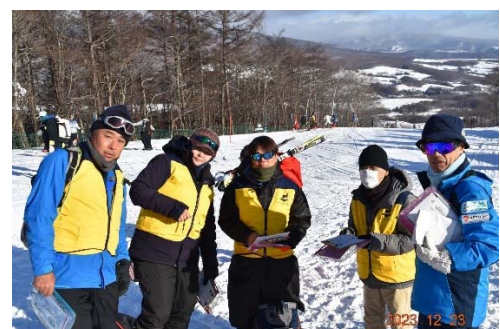
準備から本番まで、とにかく超忙しいゴールハウスの業務



⑩ コース係長：平賀 淳人、佐野 肇



⑪ 旗門審判係長：徳本 進



⑫ 広報係：佐藤 公宣



◎受付・全中開会式風景



今大会も3行事（チャレンジカップ、マスターズ、全中予選）が同時に開催されました。受付、全中開会式は大きなトラブルもなくスムーズに運営されていました。

◎インスペクションの様子

各チームのコーチはコースのとり方について熱心にアドバイスしていました。選手も自分の滑りをイメージして真剣な表情でした。



◎12/23 回転競技 天候：晴 137名エントリー





◎チューナップは完璧に

レース直前のこのひと手間が微妙なタイムに影響



◎レース前のひと時

キッズはみんな元気です！





◎まだまだ若い者には負けん！マスタース男子頑張る



御年 86歳 石川 賢一さん



御年 75歳 福原 力さん



◎12/24 大回転競技 天候：晴のち曇り 166名エントリー



◎表彰式

今回も大会運営上の理由から集合しての表彰式は実施できませんでしたが、上位に入賞した選手達は、自分の順位を確かめて賞状とメダルを持って帰っていました。



◎編集後記

年末は全国的に雪が少ない状況の中、鹿沢近辺はかろうじて降雪があり、気温も低いことからなんとか大会を運営することができました。今回は、毎度の取材とは若干、視点を変えて、大会運営役員の業務にスポットを当ててレポートしてみました。

なお、今回撮影した写真については、SAKホームページの「画像データベース」に掲載されています。多分、全員分の写真があると思うので、自分の滑りを確認して下さい。

広報委員 佐藤 公宣